

母に送る千の質問

(E・M 愛媛県西条市／女性)

「お母さんー」時々、空に向かって呼んでくる私の声、聞いているかな。

私、もう32歳。

だけど、5まだ「お母さん」泣き声や聞き返して泣く瞬間の中で母を語る。

お母さんと聞きたことがまだまだたくさんあって、その質問を誰に聞いていいかわからなくて泣いてる。2年前に出産して、私も母親になったよ。かわいい孫がいるんだよ。おはあちゃんになった母さんは、どんな風に、わたしの息子に声をかけてくれるのかな。

母を22歳のときにガンで亡くしてから今年で10年になる。苦しかった闘病生活、こんなに辛いような母を見るのはいないよ、こんな楽な世界へ送り出してあげたかった。だから辛いまま、生かして病気を闘ってほしいとは思わなかった。ただ、元気なひらひら、まっすぐお母さんに愛してあげたかった。いろんな話を聞いて、たまたま料理も教えるつもりでおけばよかったと思う。十分たぐわぬように母から教わったけれど、歳を重ねるたびに、やっぱり母を必要としてしまう。今、一番教えてもらいたいのは子育てで、自分が母親になったからには、また一層、母さんの存在の大きさを強く感じる。

私は、子どものころ、どんな食べ物が好きだった？ どんなお宝を持って遊んでいた？ 何の絵本が好きだった？ 幼稚園に行きだして、1ヶ月泣いて私がお母さんから離れなかったって話は本当？ お母さんどんなこと困った？ どんな風に育ったら、こんな私になるの？ ねえ、教えて。

年子の出来のころ、頑張り屋の姉と比べられるよりは、ほとんどなかった。「あなたは、お勉強が苦手だけど、心の優しさを」といつも言っていた母。「わたからの時代、女性も社会に出いかなきゃ」といつも言っていた母。だから何度試験に落ちても、あきらめずに教員採用試験を受け続けた。苦手な勉強も大人になって、初めて本気でやった。そのころ、学校で毎日子どもたちと一緒に学び過いお宝が出てくる。

お母さん、仕事は楽しいよ。義理のお母さんともいつもいい人で、優しくしてもらっているよ。最近、厄除けのネットリスを買ってもらったよ。本当の娘みたいに、大事にしてもらっている。19歳の時には、お母さんに、ネックリスをもらったよね。2人のお母さんにももらった宝物、大切にするからね。

九州のお婆ちゃんはず、今一人暮らしをこころで、「夜は一人で寂しい」と言っているから夢の中からも声をかけてあげてくれないかな？ 私も、お母さんの代わりに変わるように時々、電話をしているよ。「あなたは、お母さんに似ているね」とお婆ちゃんと言われたことがいっぱいあった。

いつだって私の自慢は、綺麗なお母さん、あなただから。お父さんは今年で定年退職するんだって。大丈夫かな。お父さんと一緒に、今年建てた我が家に遊びに来て欲しかったな。父さんも母さんとの老後を見ているはずだけど、今では、すっかり自分で掃除洗濯まで出来るようになったよ。

私、お母さんが生かしていたらよかったよ、子どもに話していた思いを実現していかか応援してね。目の前にいる生徒たち、「あなたは優し子だから大丈夫」とって優しく包んであげてくれる先生になったこと聞いて。

この声がお母さんに届くことかなー

お母さん、いつもありがとうー

